



沼倉 瞳 隊員の 地域おこし協力隊通信

本格的に畑の作業が始まりました！

種蒔き、育苗など家での作業が主でしたが、いよいよ畑に苗を植え付けるが始まりました。成長が芳しくなかった玉ねぎは、葉の緑色は戻ったものの、去年より細い苗になってしまいました。しかし、あまり先を心配しすぎると私が枯れてしまうので、作物の力を信じることにしました。

去年の三倍の苗の量ということで、植え付け作業のことを考えると気が重くなっていました。去年、「早く終わらせなくてはいけない」と気持ちが焦り、先が見えない孤独な作業と相まって、「辛い」という印象が残っていたからです。今年はずべての作業を楽しんでいこうと、「急がない。無理をしない」を目標



に、マイペースで臨みました。今日中に終わらなくてもいいやという気持ちで、疲れたら休み、時々景色を楽しみながら行いましたが、思いのほか作業が進み、なんと、一日で終わらせることができました。もしかしたら、体が去年の作業を覚えていて、要領良く進められたのかもしれません。

去年は、作物の成長に一喜一憂しながらも「上手に育てなくては」とプレッシャーを感じていましたが、気持ちを少し切り替えたなら、作業がとても楽しめることに気がきました。今年の畑作業は、心に余裕を持って取り組めそうです。



去年は、作物の成長に一喜一憂しながらも「上手に育てなくては」とプレッシャーを感じていましたが、気持ちを少し切り替えたなら、作業がとても楽しめることに気がきました。今年の畑作業は、心に余裕を持って取り組めそうです。

◀ 大きくなってね！と、ひとつひとつ丁寧に植えました

望来小でポップコーンとうきびを育てています

5月24日、望来小学校の農園「すくすく園」で、子どもたちと一緒にポップコーンとうきびの苗の植え付けを行いました。3月に、校長先生が協力隊活動報告会のポップコーン実演を見てくださったことがきっかけで、声をかけてくださいました。

子どもたちは、苗を丁寧に扱い、上手に植えてくれました。きっと秋にはおいしいポップコーンをみんなで食べられると思います。



去年の活動が次のステップに繋がる機会をいただけたことを、本当に嬉しく思います。今後も子どもたちと一緒に、苗のお世話を楽しんでいきます。

ウドの天ぷら

お友達からウドをいただいたので、葉の部分は天ぷらに、茎の部分は酢味噌和えにしました。ほろ苦さと独特の香りが口いっぱい広がる、この時期しか味わえない美味しさです。

山菜が大好きな私ですが、実際に山に採りに行った経験が少なく、恥ずかしながらフキしか採ったことがありません。誤って毒草を採る可能性があるため、詳しい人と採りに行くのが良いのですが、なかなかその機会がありません。去年、自分で採ったフキの味は格別



でした。フキ以外も自分で採れるようになったらと思いますので、山菜に詳しいという方、ぜひお声をかけてください！